

# 第7回大阪きもの文化塾のご案内

第7回大阪きもの文化塾では、大阪・南地花街の伝統を引き継ぐ唯一軒のお茶屋「島之内 たに川」を見学します。芸妓さんの使う衣装や櫛かんざしを見せていただき、お茶屋の女将さんや若旦那に直接お話も伺います。京都とはひと味違う大阪のお座敷文化に触れられる貴重な機会です。どうぞふるってご参加ください。

【日時】 4月12日(土) 13:00~15:00

【場所】 お茶屋「島之内 たに川」(大阪府中央区島之内 2-4-29)  
地下鉄日本橋駅より徒歩およそ6分。  
6番出口を上がり、堺筋を北(車の進む方向)へ。  
道頓堀川を越え、大阪信用金庫の角を東(右方向)に曲がって、  
三つ目の角。

【費用】 会員 3,500円 (茶菓つき)  
会員以外 4,000円 (茶菓つき)

【定員】 先着20名(応募多数の場合は、お断りすることもあります)

【参加方法】 別紙に必要事項を記入の上、4月4日(金)迄にFAXにてお申込み下さい。

【注意事項】 お座敷ですので、椅子はございません。ご注意ください。  
服装については特に決まりはございませんが、裸足でのご来場はご遠慮下さい。

## お茶屋について

お茶屋とは、お客さまの好みや予算に合わせておもてなしを手配、提供する日本の伝統的な業態です。料理屋と異なり直接料理はしません。料理やお茶菓子など全てお客さまの好みに合わせて取り寄せて用意します。

お茶屋といえば、一般的には芸妓さんが出入りするお座敷が思い浮びますが、元はお茶で一服する休憩場から始まり、お客さんのニーズに応えるにしたがって、料理、お酒、芸妓さんによるおもてなしを提供する場として発展し、現在に至ります。

## 島之内 たに川

江戸時代、大阪には新町・堀江・北新地・南地の4つの大きな花街がありました。昭和の始めには隆盛を極め、多くの芸妓が在籍していたそうです。しかし、先の大戦で空襲を受け大きな被害を受けました。再建を断念したお茶屋も多くあった中、お茶屋「島之内 たに川」が開業したのは1969年(昭和44年)のことです。現在、芸妓を派遣してワークショップを開催したり、カルチャーセンターの現地講座を受け入れたり、一般のお客さんに門戸を開く取り組みを行い、ミナミのお茶屋文化を積極的に伝えています。

「きもの文化塾」に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

日本きもの学会事務局 ☎075-211-1346 担当：嶋田

